

《この人》

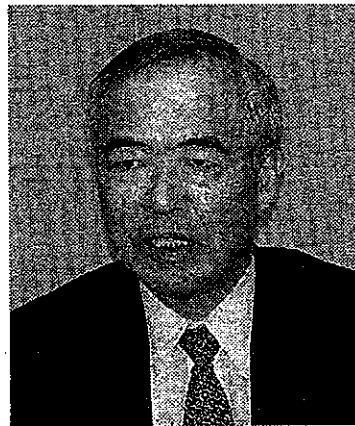
他人とのコミュニケーションは
おろそかになり
がちだ」との印象
を持って話す。

「近年、成果物の品質に問題があると指摘されるケースも増えてきている。品質はコンサルタントにとって死活問題であり、協会として発注者に受注機会の拡大を求める一方で、われわれ自身の技術力向上と品質の向上も図っていきたい」と抱負を語る。

業界の現状について「一芸に秀でた技術者・会社が多く存在するが、

「提案できる技術者」の育成支援

と考えている。提案するためには、新しい意見や技術を取り入れ、発信する柔軟な姿勢が必要だ。常に先端の技術者でいる



建設コンサルタンツ協会
近畿支部長に就任した
まつもと まさき
松本 正毅さん

「わたしの定義では『発注者に技術的な提案ができる人間』が良いコンサルであり、発注者の良きパートナーになれる

「わたしの定義では、
『発注者に技術的な提案
ができる人間』が良いコ
ンサルであり、発注者の
良きパートナーになれる
ことができれば通用
しない。技術者個人だけ
でなく、会社にも当ては
まることだ」と主張する。
施工者サイドから現場

との相違などを指摘され
るケースが増えている。
「施工途上での相違は、
工法などによることが多
い。工事施工調整会議で

適時にコミュニケーションをとって解決していくしかない。コミュニケーションにだけ、周辺分野を含めて裾野の広い技術者が多いほど良い会社であり、良い協会と言えるだろう。そのような技術者を養成していくのが、コンサル業界にとって大きな課題であり、協会として手助けしていきたい」と語る。

1972年3月東大工学部卒後、関西電力入社。
2005年6月にニュー
ジエックに出向。常務国
内事業本部長を経て、3
月13日から社長。和歌山
県出身、61歳。